



# 佐野中通信

ひたちなか市立佐野中学校  
令和7年度学校だより  
No.13 3月号  
令和8年3月2日(月)

## 燦々照今よりよき今をともに創らん

### 三月三日は 桃の節句!!

「明かりをつけましょぼんぼりに  
お花をあげましょ もものはな…」

この歌詞を目にすると、一瞬にして我々は自然とその節回しがパッと脳裏に浮かんできて口ずさむことができると思います。なぜかと言えば、保育園や幼稚園、小学校の低学年のときなどに、多分間違いなく教わってきているだろうとの思い込みからそう思うのです。こんなことを書きながら、今の令和の世の中にあっても、幼い頃にはこの唱歌との出逢いは必ずあるはずだと思いたいのですが、その実のところはどうなのでしょう…、と書いてしまいます。

さて、明日、三月三日は桃の節句です。これまでに何度も、佐野中と「三」・「三々」との縁やつながりに触れてきましたが、三月三日は佐野中にとって特別な日だと思いたいところがあります。

実は、昨年度に遡りますが、令和6年度は、租税教室なるものを11月28日に開催しました。この年は西暦2024年ということで *Olympic Year*—閏年でしたが、この年の11月28日は、何と元旦から数えてびたり303日目でした。しかもこの日の後の残りの日数は、大晦日まで含めて33日だった



2月26日(木)は県立高校の令和8年度入学生選抜のための入試日でした。翌27日には特色選抜が行われましたが、大半の生徒は初日の共通選抜で受検をしたので、二日ぶりに多くの3年生が登校しました。これまで随分と長い間、学習に真剣に取り組んできた3年生は、重い肩の荷が下りたことでしょうか。表情はとても明るく、本当に解放されたように感じます。2月の最終登校日の朝、晴々としたたくさんの笑顔を見て安心しました。

3年生のみなさん、まずは、本当にお疲れ様でした。これまで目標の実現に向けて多くの時間を捧げてきて、やっと今日という一日があります。ある意味、大きな節目です。こんな日々、こんな期間は一生のうちにそう多くはありませんが、束の間であってもピンと張りつめてきた気を少し緩めて、そして、また気を引きしめ直して、中学校最大の行事である卒業式に臨んでほしいと思っています。

みなさんの佐野中での最後の晴れ姿を楽しみにしています。

なので。こんなことに気づいて、少ししてから租税教室担当の先生に世間話としてそんな話をしました。すると驚いたことに、その先生はそのことをしっかりと覚えていて、数カ月以上が経過した令和7年4月の早々に、令和7年度の租税教室として「令和8年3月3日」を提案してきたのです。さらに言えば不思議なことに、平年(365日)であれ閏年(366日)であれ、毎年3月3日が終わると、その年の残りの日数は「303」日です。たまたまのようですが、縁は異なるもの味なものです。本来、この言葉は、主に、ある人と人との出逢いの妙を表す言葉のようですが、「三」と「三々」、そして「佐野“San”O」との関りにも不思議さを感じずにはられません。というようなことから、大変長くなりましたが、三月三日は佐野中にとって特別な日だと思ってしまうのです…。

いよいよ3月です。今の学級で仲間と生活できるのも1・2年生は後1カ月、3年生は卒業まで残り1週間です。別れの日が迫ってきて当日を迎えると何とも言えない寂しさがこみあげてくるかもしれません。それぞれに今年度の思い出を胸に秘めて、希望をもって次の舞台へと大きな一歩を踏み出してください。



# 智仁武勇



## 生活の柱：時空人の「間」を照らす - 時「間」・空「間」・人「間」

Key Word：時空人の間を燦々と照らして よりよき今をともに創らん

1年生の家庭科の授業では、調理実習を行いました。献立は、「豚肉の生姜焼き」「粉ふきいも」「キャベツの千切り」です。

ジャガイモの皮むきに手間取ったり、キャベツの千切りの太さがそろわなかったり……悪戦苦闘したようです。生徒たちに感想を聞いたところ、キャベツの千切りについて話す生徒が多く、「太くなってしまった」「もっと細く切りたかった」など話してくれました。粉ふきいもでは、「ピーラーでジャガイモの皮を剥くのが大変だった」そうです。「生姜焼きのたれを捨ててしまって、味がなくなってしまった」という失敗もありつつ、「生姜焼きがおいしかった」「生姜を擦ると、チューブのもととは違って香りが強かった」と楽しそうに話してくれる生徒が多くいました。

班ごとに協力して、おいしく調理できたようです。次は、各家庭で披露してほしいと思っています。

最後に、各クラスとも、担任の先生や学年の先生方におすそ分けしてくれました。放課後、一生懸命に作った一皿をおいしくいただきました。ごちそうさまでした。



食に関する指導「朝食をステップアップしよう。」が行われました。

オンラインで2学年一斉にタブレット使って授業を行いました。

振り返りの感想では、朝食の大切さに改めて気付く生徒が多くいました。

3月2日(月)のことです。約8カ月前の6月末に2年生を対象に行った「ゆかたの着方研修会」を行いました。今年度2度目の開催です。今回の対象者は入試を終えた3年生です。真夏の直前に2年生が浴衣を着ているのを見て、「自分たちもやりたい」と、男女を問わず多くの3年生がその思いを呟きました。この願いに寄り添ったのが家庭科担当の先生です。PTAにも相談し、時間をかけて実現の運びとなりました。県の事業としては、例年、全県で2校のみの実施のようですが、今後は県の事業とは別に、佐野中の特色の一つとして毎年2年生を対象に実施することを考えています。限られた時間の中の非日常の体験は、卒業を間近に控えた3年生にとって嬉しいひとときとなったようです。

### 昼休み、本と出会う

図書室は、週に2回昼休みに開館し、図書委員が貸し出しなどを行っています。蔵書は約1万7千冊、新刊も充実しています。また、学級文庫として毎月各クラスに貸し出し、教室でも読書に親しめる環境を整えています。昼のチャイムとともに本を求めて駆け込んでくる生徒、いつもの席で静かにページをめくる生徒、思い思いの時間を過ごしながら図書室は、今日も穏やかな活気に包まれているのです。

